

# ふみびと

## 音の「記憶」

第269号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

# 予想外を楽しむ 偶然が創る世界

ネット上でニュースをチェックし、SNSでコミュニケーションを取り、クリックひとつで欲しいものを買う。便利なだけでなく、さらに自分の好みに合いそうなものをおすすめまでしてくれる。画面の中の世界は、どんどん自分の好きなものや興味のあるものにカスタイムズされていく。それはとて

心惹かれたり、存在も知らなかったものに驚く機会が減ってしまうのだ。世界を広げてくれると

## 画面の外へ

外の色や、街のお店。その場所予想外のものが待っている。さあ、スマホを置いて、外を歩こう。誰かに手紙を書こう。

ある日、十ほど歳の離れた先輩の車を動かす機会があった時のこと。エンジンをかけてとスピーカーから流れてきたのは私が子どもの頃にはすでに「懐かしい」と言われていたような昔の曲。「古い曲流れてたでしょ」そう聞いてきた先輩は、少し恥ずかしそうに、でも懐かしさに浸るように「久しぶりに聴きたくなつて」と「弁解」していました。そんな先輩を見て触発

されたように「古い曲」を漁り出しました。「年代の曲」と調べてみると、それぞれの時代をと共に過ごしてきた懐かしい曲がたくさん。歌詞も覚えるほど聴いた曲が、今ではタイトルもうる覚えになっていながらも、それでも聴くと不思議と自分が何歳の頃、どんな時に聴いていた曲だったかもはつきりと思いつく。音を聴いただけで在りし日の情景が浮かんでく

るような数々の曲。知らず知らずのうちに音は記憶に刻まれていくのだと感じます。曲のタイトルや歌詞は忘れてしまっても、音が連れてきた思い出はなぜかそう簡単には忘れることができないようです。歳を重ねてくると覚えていられることは少しずつ減ってきてしまうもの。それでも物忘れが多くなっても思い出は不思議と覚えていられるものだといま



きつといくつになっても思い出させてくれるのでしょうか。笑顔の時もそうでなかった時も「思い出」にしてくれる。そんな人生を彩ってくれた特別な音が。皆さんの耳の奥の記憶も久しぶりに紐解いてみてはいかがでしょうか。すっかり忘れていた昔の曲。そんな中にこそ美しい思い出が眠っているかもしれない



前回、募集した言葉の冊子「今年目標」には本当にたくさんの方に投稿いただき、ありがとうございます！その全てをWEB上からご覧いただけます。今回の言葉の冊子が交流のきっかけになれば嬉しいです。

## 言葉の冊子

3月の発送日  
3月の発送日は15日、31日です。送りたいお手紙がある場合は、それぞれ2日前の13日、29日までに事務局に到着するように余裕をもってポストに投函してください。

## 次回発送日

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務信同の返宛の筒にのりをつけて、事務用封下まで流し込みます。